

第一学年 年間指導計画

目標 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(ア) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くこと。
(イ) 点画の長短や方向、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書くこと。

配当時間 30時間

月	単元名・(ページ)	時間	学習目標	学習活動	評価
4月	・しせいと えんびつのもちかた (P3～5)	なし	○校内にある身近な文字に気づき、文字による表現に関心を持つことができる。	○教室内にある文字を探してみたり、学校案内の際に児童との関わりの深い部屋の文字を探してみたりして、文字に対する興味を深める。	○文字探しを通して、文字による表現に関心を持つとしている。
4月	一 えんびつで かこう (P6～7)	1	○様々な線を引き、鉛筆の持ち方と動かし方に慣れることができる。	○直線・曲線・折れ線など、運筆に直結する線を書き、鉛筆の持ち方と動かし方を確かめながら運筆に慣れる。	○正しい姿勢のとり方と鉛筆の持ち方をしている。 ○様々な線を書き、鉛筆の持ち方や運筆に慣れる。
5月、6月	二 ひらがなの ひつじゆんと かきかた (P8～15)	8	○書き出しの位置に注意して書くことができる。 ○正しい筆順で平仮名を書くことができる。 ○「とめ」「はね」「はらい」「おれ」「まがり」を正しく書くことができる。 ○「むすび」の筆使いと形を知り、正しく書くことができる。	○一筆で書く文字の、書き出しの位置を確かめながら文字を書く。 ○文字には筆順のあることを知り、筆順に従って書くことを理解する。 ○「とめ」「はね」「はらい」「おれ」「まがり」それぞれの筆使いを知り、その書き方について教科書の手本文字をまねながら書く。 ○さまざまな「むすび」の筆使いを知り、それぞれの形のとり方を練習して文字を書く。	○文字には筆順があることを知り、筆順に則って書くようとしている。 ○文字の書き出しの位置を意識しようとしている。 ○正しい筆順で書いている。 ○「とめ」「はね」「はらい」「おれ」「まがり」を正しく書いている。 ○「むすび」の形を知り、正しく書いている。
7月	三 ひらがなの まとめ (P16～17)	2	○拗音・促音を正しく書くことができる。 ○濁音・半濁音の書き方を理解することができる。 ○「ひらがなのひょう」を見ながら概形を意識することができる。	○拗音・促音を書く位置や文字の大きさを理解する。 ○濁音・半濁音を書く位置とその大きさを理解する。 ○平仮名の概形について、そのとらえ方を理解する。 ○概形を意識し、既習の筆使いを想起しながら平仮名を書く。	○拗音・促音・濁音・半濁音を書く位置を意識しようとしている。 ○拗音・促音の書き方を理解できている。 ○濁音・半濁音の書き方を理解できている。
7月	四 ひらがなの ひょう (P18～19)	2	○筆順や概形に注意して、平仮名を書くことができる。		○「ひらがなのひょう」を見て概形を意識しようとしている。 ○概形や書く位置に注意して、平仮名を書いている。
9月	四 かんじの ひつじゆん (P20～21)	2	○漢数字を正しい筆順で書くことができる。 ○筆順の原則を知り、間違えやすい筆順の漢字に注意して書くことができる。	○漢数字を正しい筆順で書く。 ○漢字の筆順について、大まかな法則があることを知る。 ○筆順を誤りやすい漢字について、書きながら認識し、筆順を覚える。	○筆順の原則を知り、筆順に則って書くようとしている。 ○漢数字を正しい筆順で書いている。 ○筆順の原則を知り、間違えやすい筆順の漢字に注意して書いている。
10月	五 かんじの かきかた (P22～25)	4	○漢字の「とめ」「はね」「はらい」「おれ」「まがり」「そり」を正しく書くことができる。	○漢字にある「とめ」「はね」「はらい」「おれ」「まがり」「そり」それぞれの筆使いを確かめ、その書き方について教科書の手本文字をまねながら書く。	○漢字の「とめ」「はね」「はらい」「おれ」「まがり」「そり」を正しく書いている。
	・しよしやの がくしゆうの しかた (P26～27)	なし	○課題を明らかにしながら書写学習を進める方法をj知ることができる。	○一連の練習方法を知り、自学自習のための一つの手段として覚える。	○課題を明らかにしながら書写学習を進める方法をj知ろうとしている。

月	単元名・(ページ)	時間	学習目標	学習活動	評価
11月	六 かたかなの ひつじゅんと かきかた (P28～29)	2	○片仮名の「とめ」「はね」「はらい」「おれ」「まがり」を正しく書くことができる。 ○画や払いの方向を誤りやすい片仮名を、正しく書くことができる。	○片仮名にある「とめ」「はね」「はらい」「おれ」「まがり」それぞれの筆使いを知り、その書き方について教科書の手本文字をまねながら書く。 ○片仮名の筆順を知り、筆順に従って書く。 ○長音符の書き方を知る。 ○画や払いの方向を誤りやすい片仮名について、書きながら認識し、方向を覚える。	○片仮名の正しい筆順に注意して書くこととしている。 ○片仮名の「とめ」「はね」「はらい」「おれ」「まがり」を正しく書いている。
12月、1月	七 かきぞめ (P30～31)	3	○書き初めを書くことができる。 ○句読点を正しく書くことができる。 ○鉛筆以外の筆記具を正しい持ち方で書くことができる。	○既習事項である「筆使い」「字形のとり方」「筆順」「濁点・半濁点の位置」を想起しながら書く。 ○フェルトペンやサインペンなども鉛筆と同じ持ち方であることを理解し、丁寧に書く。	○既習事項を想起して書くこととしている。 ○姿勢良く書き初めを書いている。 ○句読点を正しく書いている。 ○鉛筆以外の筆記具を正しい持ち方で書いている。
2月	八 かくのながさと ほうこう (P32～33)	2	○画の長短や方向に注意して書くことができる。	○点画の長短を確かめ、注意しながら書く。 ○点画の方向を確かめ、注意しながら書く。	○画の長短や方向の違いに注意して書いている。
3月	九 がくしゅうのまとめ (P34～35)	2	○一年の学習を振り返り、確かめることができる。 ○「」の書き方を知り、正しく書くことができる。	○一年生で学習したことを振り返り、平仮名・漢字・片仮名の「筆使い」「字形のとり方」「筆順」「画や払いの方向」「濁点・半濁点の位置」を想起しながら書く。	○一年の学習を振り返り、確かめようとしている。 ○「」の書き方を知り、正しく書いている。
	・たのしんで かこう (P36)	なし	○古くから伝わるわらべ歌などを書くことを通して、連続と続く言語文化に触れる。	○身近な童謡や唱歌などを、既習の技能を生かして書く。	○古くから伝わるわらべ歌などを書くことを通して、連続と続く言語文化に触れ、関心を持つとしている。
	・たてがきと よこがき (P37～38)	なし	○縦書きと横書きの書き方を理解する。	○他教科の学習においても、既習の書写技能を生かして書く。	○縦書きと横書きの書き方を理解しようとしている。
	・かんさつカードをかこう (P39)	なし	○横罫のカードの書き方を理解する。 ○机上以外でも紙を安定させて書くことを理解する。	○他教科の学習においても、既習の書写技能を生かして書く。	○横罫のカードの書き方を理解しようとしている。 ○机上以外でも紙を安定させて書くことを理解しようとしている。
	・かたかなの ひょう (P40)	なし	○「かたかなのひょう」を見て片仮名の五十音、濁音、半濁音の書き方を理解することができる。	○拗音・促音を書く位置や文字の大きさを理解する。 ○濁音・半濁音を書く位置とその大きさを理解する。 ○既習の筆使いを想起しながら片仮名を書く。	○「かたかなのひょう」を見て片仮名の五十音、濁音、半濁音の書き方を理解しようとしている。

一学年年間指導時数30時間の内、28時間を配当。余りの2時間は、児童の習熟度に合わせた学習や、興味・関心を養う学習を行うなど予備時間として充当する。